

受入団体名：公益財団法人大阪府国際交流財団

団体プログラム名：
国際理解教育外国人サポーター派遣事業

募集人数

2～3名

＜活動期間：2024年10月～2024年12月末　活動日数： 5日程度＞

＜活動日or 活動パターン＞
☐週1日程度・定例、☒月1～2回・不定期 ☐その他

＜活動の流れ＞ ※例のため、必ずしも毎回同じではありません。

日時	活動内容
	授業のための準備(別の日に事務所で作業)
	現地に集合
	(講師の場合は)授業を担当
	(スタッフの場合は)授業の進行をサポート
	解散
	活動記録(Facebook)を作成・報告
	授業に関する請求書類を作成

＜主な活動場所＞
大阪府内の小・中・高・支援学校
大阪府国際交流財団の事務所
(最寄駅・バス停など：堺筋本町)
＜キャンパスからの交通手段＞
南茨木駅～堺筋本町駅

＜活動に必要な費用＞
なし。ただし、学校までの交通費は学生(大学)負担
＜参加の姿勢＞
国際相互理解促進のため有意義な授業になるよう、多国籍・多民族のサポーターと協力することが大切
＜コミュニケーションの手段＞
☒電子メール ☐ Facebook
☐LINE ☒電話
☐その他()

<活動のテーマと主な内容>

【多文化共生】を目指して『違い』や『思い』を伝える

大阪府全体が多様な人々が互いに文化的な違いを理解し、同じ地域に暮らす住民として共に生活できるまちになるよう、活動をしていきます。

関わっていただく活動によっても異なりますが、基本的には多様な国籍やルーツを持つスタッフやボランティア（サポーター）と一緒に、活動していただきます。

大阪府国際交流財団

ホームページ: <https://www.ofix.or.jp/supporters/>

YouTube: <https://www.youtube.com/channel/UCRr2fZ2mv1y9ngZY9ueUthw>

Facebook: <https://www.facebook.com/osakafoundation>

Twitter: https://twitter.com/OFIX_JP

<活動する現場で学生が求められる背景（理由）>

「多文化共生」と言葉で言うのは簡単なことですが、真の多文化共生には、人々の心にある、偏見や排他的思想等を

取り除く必要があります。未来を担う学生自身が、外国人の方だけではなく、障がい者など、様々な違いがある方々に関心を寄せ、ご自身の身の回りの方はもちろん、次世代に多文化共生の理念や思いを伝える担い手になってもらえることを期待しています。

<学生が期待できる学び>

- ・出身国や言語など、ルーツの異なる多様な方と、同じ目的に向かって活動をすることで、国際交流や多文化理解の機会を得られる。
- ・国際交流からだけでは見えない在住外国人の方の抱える問題を知ることができる。
- ・語学力だけではない、多文化共生分野への関わりを知ることができる。

<活動紹介>



2023年10月中旬に小学校での国際理解教室の様子
(紹介国・地域：アメリカ)



2023年11月中旬東大阪市カラフルコミュニケーションパーク@近畿大学でのブース交流（紹介国・地域：韓国）



2024年1月中旬に国際理解教育の生徒・児童との交流の様子（紹介内容：キューバのゲーム）